

TDSC通信



サポートーズクラブ
DIY 教室
 ~ご家庭で役立つものづくり体験~

大人向け

サポートーズクラブ会員向けに「DIY教室」を開催します。内容は下記の通りです。
 組合員向けにも枠を設けますので、興味がある方は是非ご参加下さい。

- とき** 12月9日(日)
 午前の部 10:00～12:00
 午後の部 13:00～15:00
- ところ** 世田谷支部会館
- 内容**
 - ①網戸の張替え
 - ②クロス（壁紙）貼り
 - ③珪藻土左官
 - ④塗装
 - ★4つの作業を体験します
- 参加費** 無料
- 定員** 20名（午前・午後各10名）
- 締切** 12月3日(月)
 ※定員になり次第締め切れます



サポートーズクラブとは…

世田谷支部では、地域の住民に広く東京土建の活動を知ってもらうために、サポートーズクラブに登録してもらい、定期的に通信を発行しています。また親子木工教室の開催など、建築組合としての技術・技能を活かした活動にも取り組んでいます。

お問合せ・お申込み ☎ ※必ずお電話でご確認の上、FAXでお申し込み下さい。

東京土建一般労働組合世田谷支部／担当：田村・橋本
 TEL 03-3413-3020 / FAX 03-3413-3021
 世田谷区上馬5-34-16

※当日同会場で門松づくりも見学できます





今やろう 防災アクション

物の備え

●自宅で備える事の

重要性
ひとたび大規模な地震が起これば、電気・ガス・水道などのライフライン被害や物資供給の停滞が想定されます。自宅の倒壊などを免れた多くの都民は、発災後も自宅にとどまって当面生活することが想定されますので、日頃から自宅で生活する上で必要な物を備えておくことが重要です。

●日常備蓄という考え方
これまでの災害用備蓄は、乾パンやヘッドライトなど普段使わない物を用意する特別な準備と考えられてきました。そのため管理や継続が難しいとあきらめてしまう人も多かったはず。しかし、日頃利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入しておく「日常備蓄」なら簡単に備蓄ができます。

室内の備え

地震負傷者の30~50%は家具類の転倒・落下・移動近年の地震による負傷者の30~50%は、家具類の転倒・落下・移動が原因です。部屋に物を置かないことが最大の防御。次に下敷きにならないように家具類を配置する。その上で器具による家具類の転倒・落下・移動防止対策を行えば、ケガのリスクを低くすることができます。

室内のレイアウト

火災などの二次災害を防ぐ納戸やクローゼット、据え付け収納家具に収納するなど、できるだけ生活空間に家具類を多く置かないようにします。緊急地震速報を聞いたとき、すぐに物を置いていない空間に避難すれば安全です。

避難経路確保のレイアウト

ドアや避難経路をふさがないように、家具配置のレイアウトを工夫しましょう。部屋の出入り口や廊下には家具類を置かないように、据え付けの戸棚に収納。さらに引き出し

の飛び出しに注意し、置く方向を考えます。

火災などの二次災害を防ぐ

家具類がストーブに転倒・落下・移動すると、火災などの二次災害を引き起こす危険があります。また、発火のおそれがある家具・家電も転倒・落下・移動防止対策が必須です。

世田谷区では、家具の転倒防止対策として、上記の助成制度があります。助成を受ける事が出来る対象の方は、上記の通りです。また、助成を受けずとも取付を希望される方は、東京土建にご相談下さい

移動・落下・転倒防止対策

家具類のレイアウトを工夫したら、器具による家具類の転倒・落下・移動防止対策を行います。最も確実な

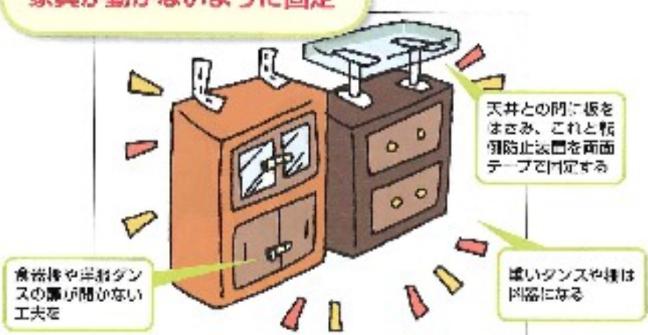
方法は、壁にL型金具でネジ止めすることです。ネジ止めが難しい場合は、突っ張り棒とストッパー式、突っ張り棒と粘着マットを組み合わせると効果が高くなります。

日常的に動かして使う場合、移動時以外はキャスターをロックし、定位置がある場合は壁や床に着脱式ベルトなどでつなげます。普段動かさない物は下皿や、ポール式器具などを設置し、固定します。

壁面に接して置いていない背の低い家具類の中でも、特にテーブルやイスは移動防止対策が必須。粘着マット、カーペットの場合は滑り防止マットを設置します。以上のような対策を取ることによって二次災害を未然に防ぎましょう。

「東京都防災」より

家具が動かないように固定



トート青幸

餅つき大会

地域の方々にも参加していただけるイベントとして定着した餅つき大会。お餅をはじめ、おでん、焼き鳥、豚汁、フランク、各種飲み物をお配り致します。是非お越しください。

【日時】1月13日（日）10時～14時30分

【参加費】無料（申込不要）どなたでも参加可

【会場】東京土建世田谷支部会館 **【主催】**東京土建世田谷支部

地震対策はおすすめですか？

世田谷区高齢者助成制度のご案内



[家具の転倒防止対策を進めましょう]

阪神淡路大震災（直下型地震）では、家具の転倒や散乱によって、逃げ遅れたり室内で怪我を負った方も多数存在します。仮に建物が無事でも、家具が転倒するとその下敷きになって怪我をしたり、逃げ遅れたりすることからその対策が必要になります。家具をL字金具やベルト等でしっかりと固定することで、地震の時に転倒を防いだり、倒れるまでの時間をかせいでしまうことができます。もしもの時の対策を各家庭で進めましょう！

申請から取付までの流れ

[家具転倒防止器具取付支援助成制度（世田谷区）]

世田谷区では、高齢者・障害者・要介護者等の方がお住まいの世帯に「家具転倒防止器具の取付支援」として2万円まで助成が出る制度があります。申請から取付までの流れは右表の通りです。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

NPOセーフティーリビング：03-3413-2720

世田谷区防災街づくり課震促進係：03-5432-2468



世田谷区の助成制度を活用しましょう！

世田谷区環境配慮型住宅リノベーション制度

世田谷区では「世田谷区環境配慮型住宅リノベーション補助事業」として住宅の外壁や窓等の断熱改修工事、CO₂排出削減に向けた太陽光熱利用システムの設置、省エネルギー機器類を設置する工事に対して下記の助成金ができます。

●対象工事額の10%（上限20万円）

●区の耐震改修工事助成と合わせて対象工事を行う場合、対象工事額の15%（上限30万円）

※世田谷区内に本店がある事業所が施工した場合に限ります。現在リフォーム工事をお考えの方、または環境配慮型住宅へ関心のある方は、この機会に是非助成制度を利用したリフォーム工事をご検討下さい。

詳細は東京土建世田谷支部または世田谷区住宅課まで。

東京土建世田谷支部：03-3413-3020

世田谷区住宅課：03-5432-2505



安全で省エネな暮らしをすすめましょう！

DIY教室申込書

【申込方法】

- ①お電話で予約する
- ②申込用紙をFAXで送る
- ③申込完了

※①～③の順番でお申ください。

**電話：03-3413-3020
FAX：03-3413-3021**

日時：2018年12月9日（日）

①午前：10時～12時 ②午後：13時～15時

会場：東京土建世田谷支部会館2階

（世田谷区上馬5-34-16）

内容：①網戸の張替え ②クロス（壁紙）貼り

③珪藻土左官 ④塗装 ★4つ体験します 参加費：無料

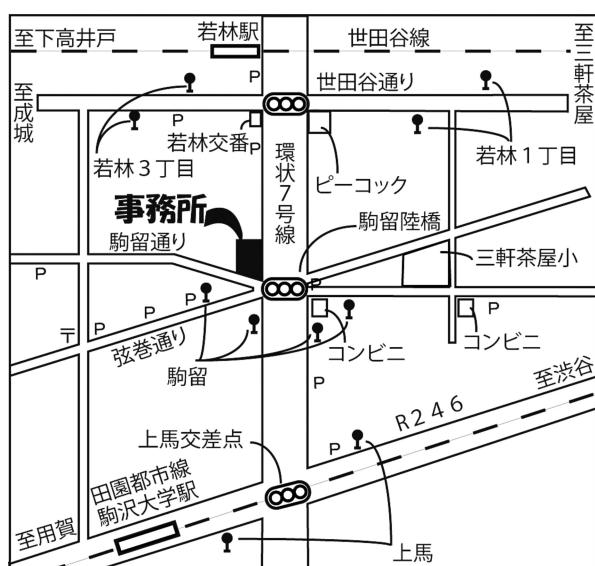
参加対象：どなたでもご参加できます。

（お子様だけでの参加は出来ません）

定員：20組（午前午後各10組先着順） 参加〆切：12月3日（月）

- 道具などはご用意しております。
- 当日は汚れても良い服装でお越しください。
- 会場に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

日 時	12月9日（日）	午 前	・	午 后	※どちらかに○を付けて下さい
ふりがな					
氏 名					
住 所					
電 話 番 号			携 帯 番 号		



発行元
〒154-0011
東京都世田谷区上馬5-34-16
東京土建一般労働組合世田谷支部内
東京土建サポートーズクラブ事務局

TEL: 03-3413-3020

FAX: 03-3413-3021

東京土建世田谷支部のHP:

www.doken-setagaya.or.jp

E-mail: info@doken-setagaya.or.jp